

調査にご協力いただいているモニターの皆さまへ

東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所 共同研究
「子どもの生活と学び」研究プロジェクト



ニュースレター

2026年
3月発行

日ごろより調査にご協力いただいているモニターの皆さまには、本プロジェクトの活動にご理解をいただき、誠にありがとうございます。

2015年に開始した「子どもの生活と学びに関する親子調査」は、昨年(2025年)7~9月に行った調査で11回目を迎えました。これまで同様に多くの方にご回答いただき、たくさんの成果を発表できました。また、2026年2~3月にも、一部の方を対象にした調査を実施しています。ご回答をいただいた方々には、重ねて心より御礼を申し上げます。

皆さまのご協力のおかげで、たくさんの教育関係者や研究者がこれからの教育のあり方を考える資料として、この調査データを活用しています。

今回のニュースレターでは、「モニターの皆さまへのお知らせ」とともに、調査からわかった最新の結果をピックアップしてお届けします。お子さまの教育や子育ての参考にいただければ幸いです。

モニターの皆さまへのお知らせ

●調査の進行状況

調査名	実施時期	進行状況	ご協力をお願いする方
子どもの生活と学びに関する親子調査2025【11回目】	2025年7～9月	終了	小学1年生～高校3年生のお子様と保護者の方 (小1～3生は保護者の方のみ)
高校3年生卒業時調査	2026年2～3月	終了	高校3年生のお子様
若者の生活と学びに関する調査	2026年2～3月	終了	19～21歳相当の方
子どもの生活と学びに関する親子調査2026【12回目】	2026年7～9月	実施予定	小学1年生～高校3年生のお子様と保護者の方 (小1～3生は保護者の方のみ)

※2026年も夏にモニター全員を対象にした調査を実施予定です。

●研究結果の活用

調査結果は、東京大学社会科学研究所とベネッセ教育総合研究所のWEBサイトで公開し、いつでも閲覧いただけます。

また、国内の主要な新聞、テレビ、インターネットニュースなどでも数多く取り上げられています。

2024年2月には、本プロジェクトの2冊目の書籍(『パネル調査にみる子どもの成長—学びの変化・コロナ禍の影響』勁草書房)を刊行しました。



2025年度のホットトピックス

●プレスリリース

◆2025年5月29日配信

10年間の縦断調査で子どもの「なりたい職業」の変化や進路探索行動を分析
「進路を深く考える経験」は学習意欲を高め、学習行動を促進

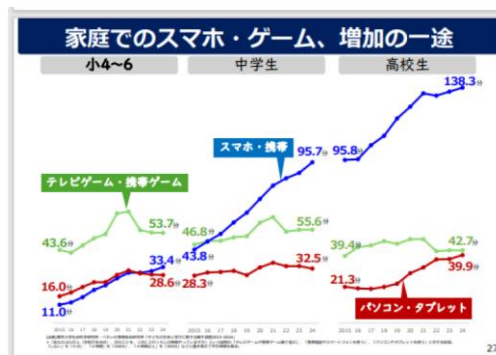
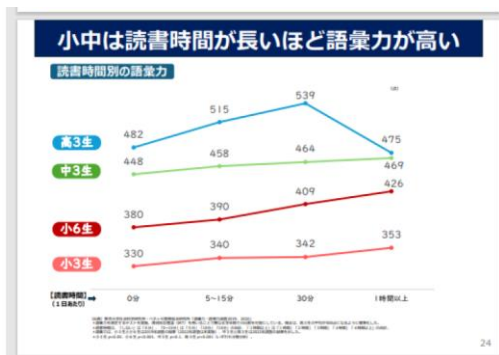
➡ 日経新聞、共同通信、Yahoo!ニュース、東洋経済など多くのメディアで取り上げられました

◆2025年10月20日配信

「読書をしない」子どもは10年前と比べて1.5倍に増加
スマホ時間と読書時間は逆相関関係があり、読書0分の子は語彙力・読解力が低い傾向

➡ 読売新聞、日経新聞、毎日新聞、産経新聞、TBSなど多くのメディアで取り上げられました

●文部科学省の政策審議における引用



国の教育政策を検討する中央教育審議会などで、本調査の結果がたびたび引用されています



重要 ●登録情報の変更のお願い

1) 住所や電話番号に変更のある方は、必ず登録情報変更をお願いいたします。
調査依頼などを確実にお届けするために、ご協力をお願いいたします。

2) メールアドレスのご登録がまだの方は、ぜひご登録ください。

ベネッセ教育総合研究所 research-monitor@mail.benesse.co.jp からの
連絡がとりやすいメールアドレスに更新してください。

メールでも、調査のご依頼や調査結果のお知らせなどを差し上げております。
皆さまには継続してご協力をお願いしたく、お手数をお掛けしますが
メールアドレスのご登録をよろしくお願いいたします。

登録情報の変更

メールアドレスの登録

「子どもの生活と学び」研究プロジェクトのWEBサイトから変更・登録ができます

- 変更・登録→[こちらのページ](#)からお進みください
- スマートフォン、タブレットは、右のQRコードからも
ページにアクセスできます。

※ご不明点やご質問がございましたら下記までご連絡ください。

Email: research-monitor@mail.benesse.co.jp

◎お問い合わせ時には、はがきのお宛名の近くにある(5桁の数字)をお知らせください。

◎ご返信は土日祝日を除く3営業日以内にお送りいたします。



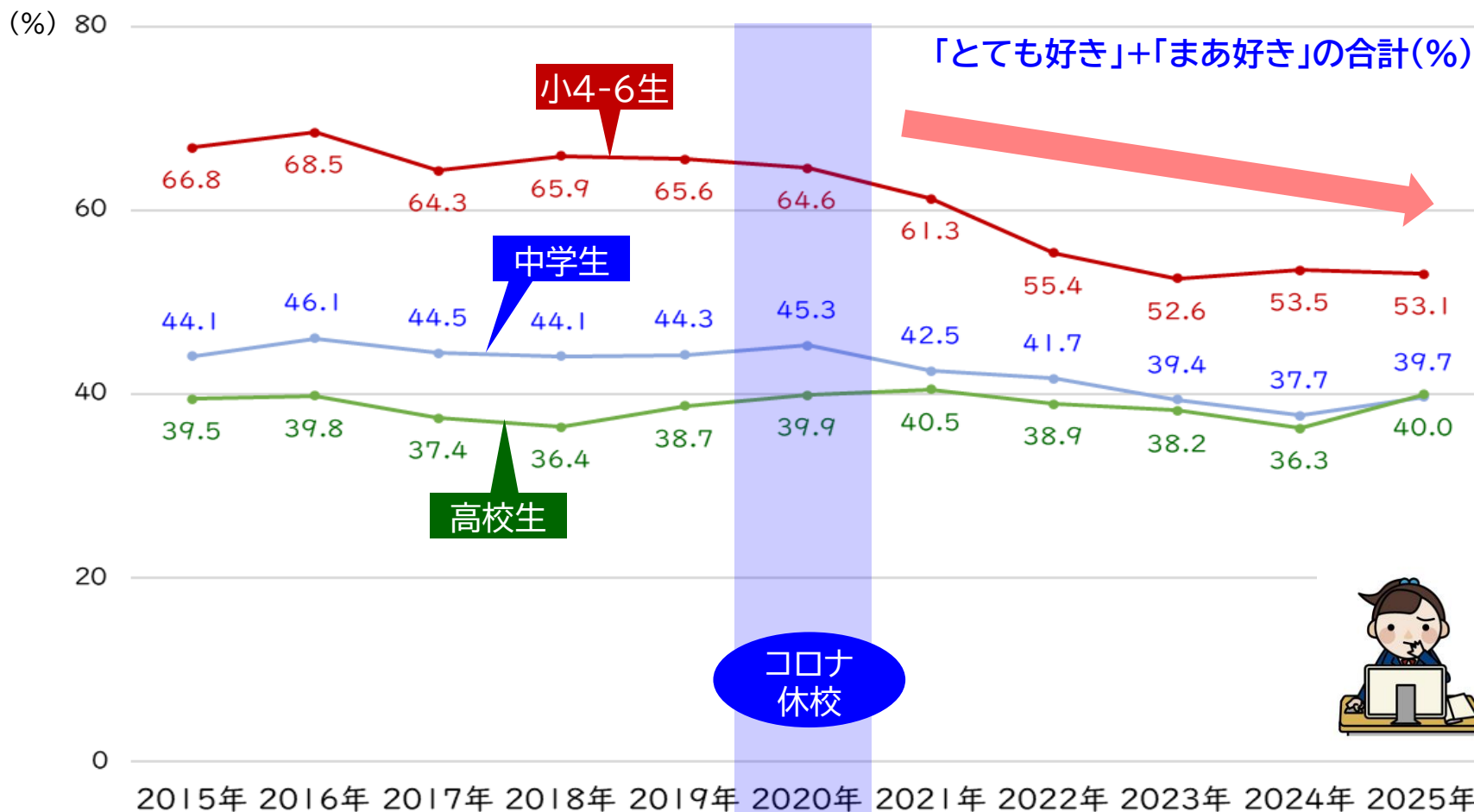
次のページでは、最新の調査結果をピックアップしてお届けします

「子どもの生活と学びに関する親子調査2025」 調査結果のご紹介 (2025年7~9月実施)

調査にご協力
いただいた皆さま
ありがとうございました!

まずは、「勉強が好き」と答える子どもの割合についてのデータを紹介します。
近年、小中学生で「勉強が好き」と答える子どもの割合が低下しています。

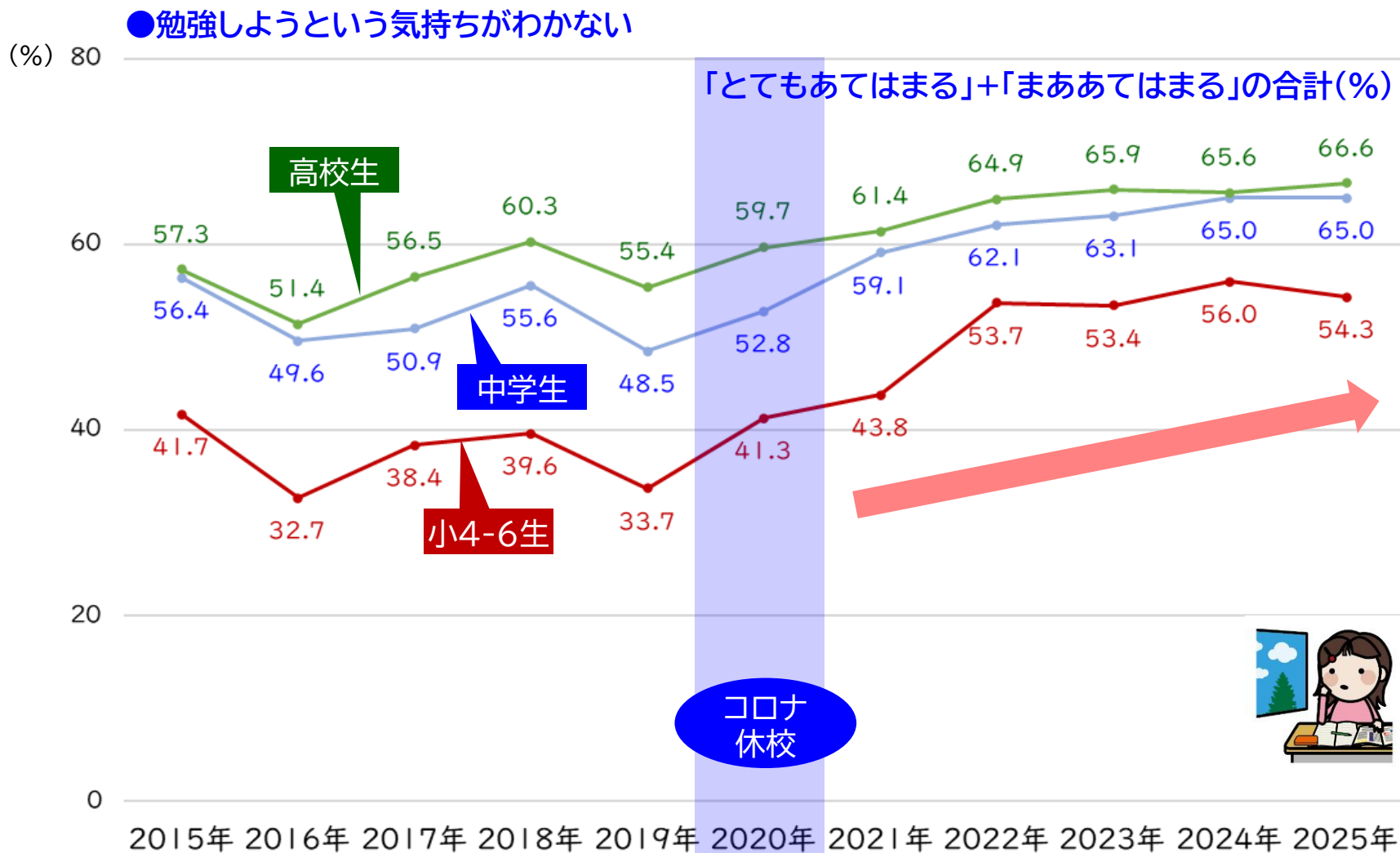
① 「勉強が好き」と答える子どもの割合の変化 (2015~25年)



② 「勉強しようという気持ちがない」の変化（2015～25年）

次に、学習意欲に関するデータです。

下の図は、「勉強しようという気持ちがない」と思うかどうかをたずねた結果です。その肯定率は近年高まっていて、学習意欲が低下する傾向にあることを示しています。

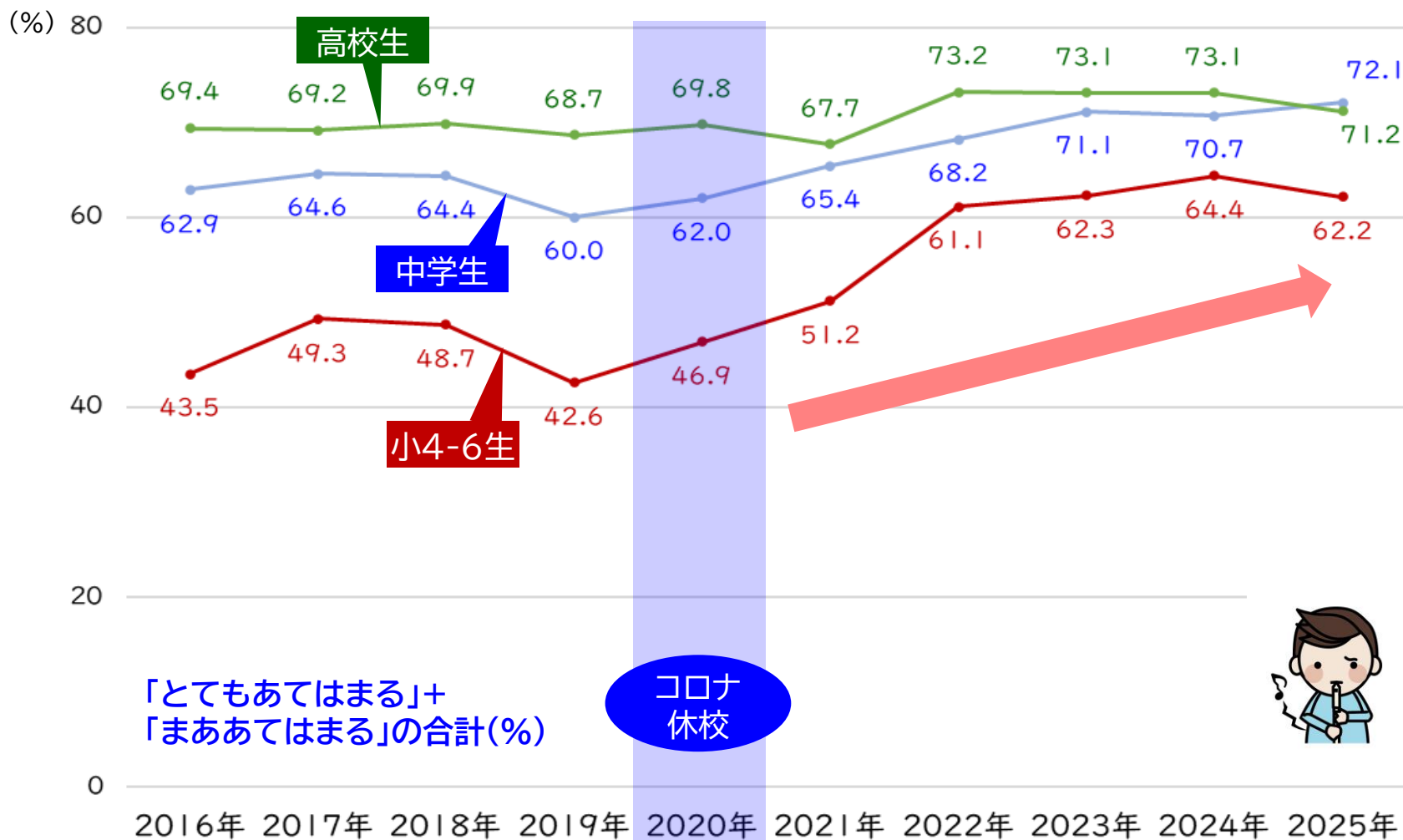


③「じょうずな勉強のしかたがわからない」の変化（2016～25年）

次は、学習の悩みにかかわるデータです。

下の図は、「じょうずな勉強のしかたがわからない」と思うかどうかをたずねた結果です。こちらも小中学生で肯定率が高まっていて、学習方法に関する悩みが増えているようです。

●じょうずな勉強のしかたがわからない

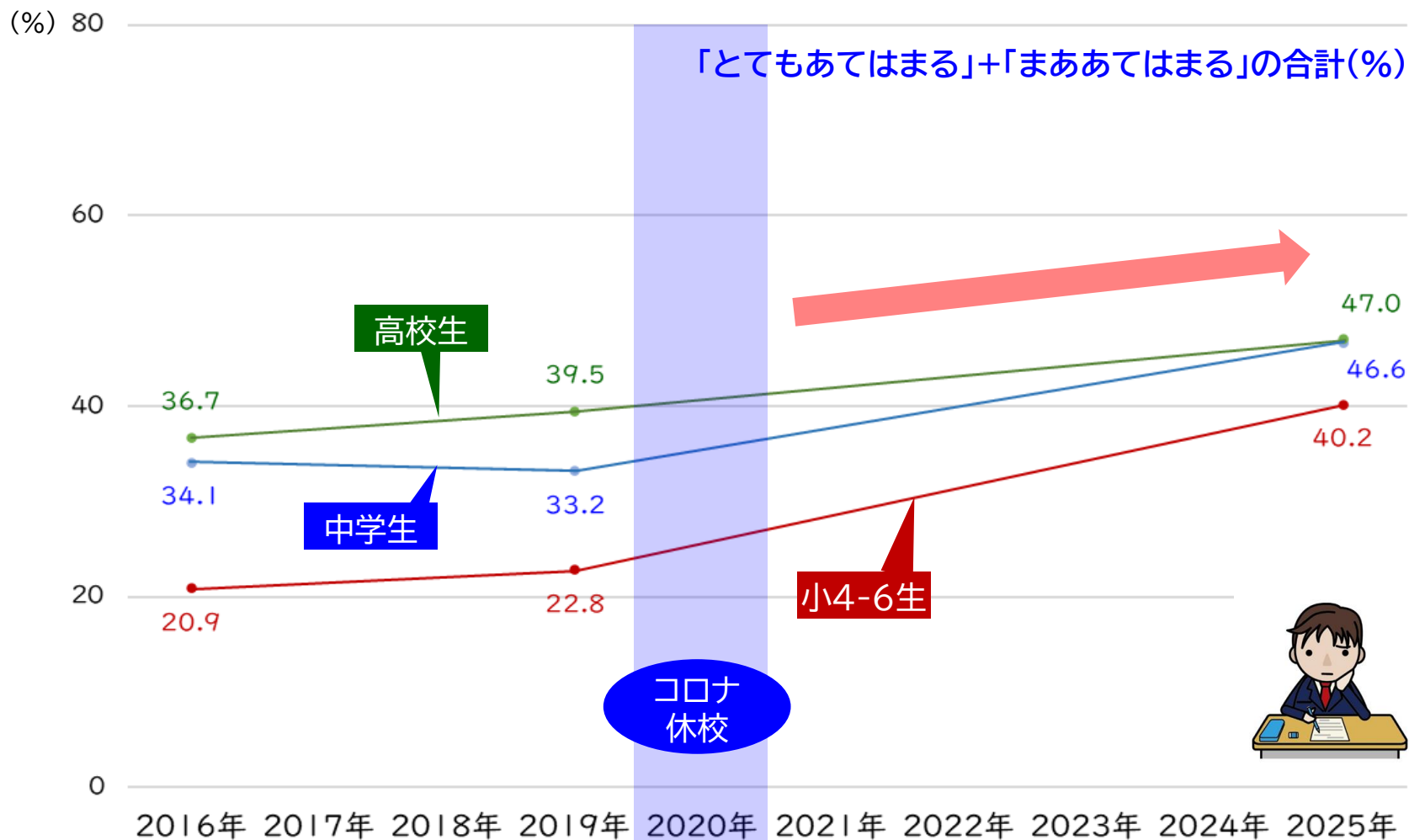


④「何のために勉強しているのかわからない」の変化（2016～25年）

続けて、学習の目的に関するデータです。

下の図は、「何のために勉強しているのかわからない」と思うかどうかをたずねた結果です。小学生から高校生まで比率が高まっていて、学習の目的が不明確になっている様子です。

●何のために勉強しているのかわからない ※2016年、19年、25年のみの調査

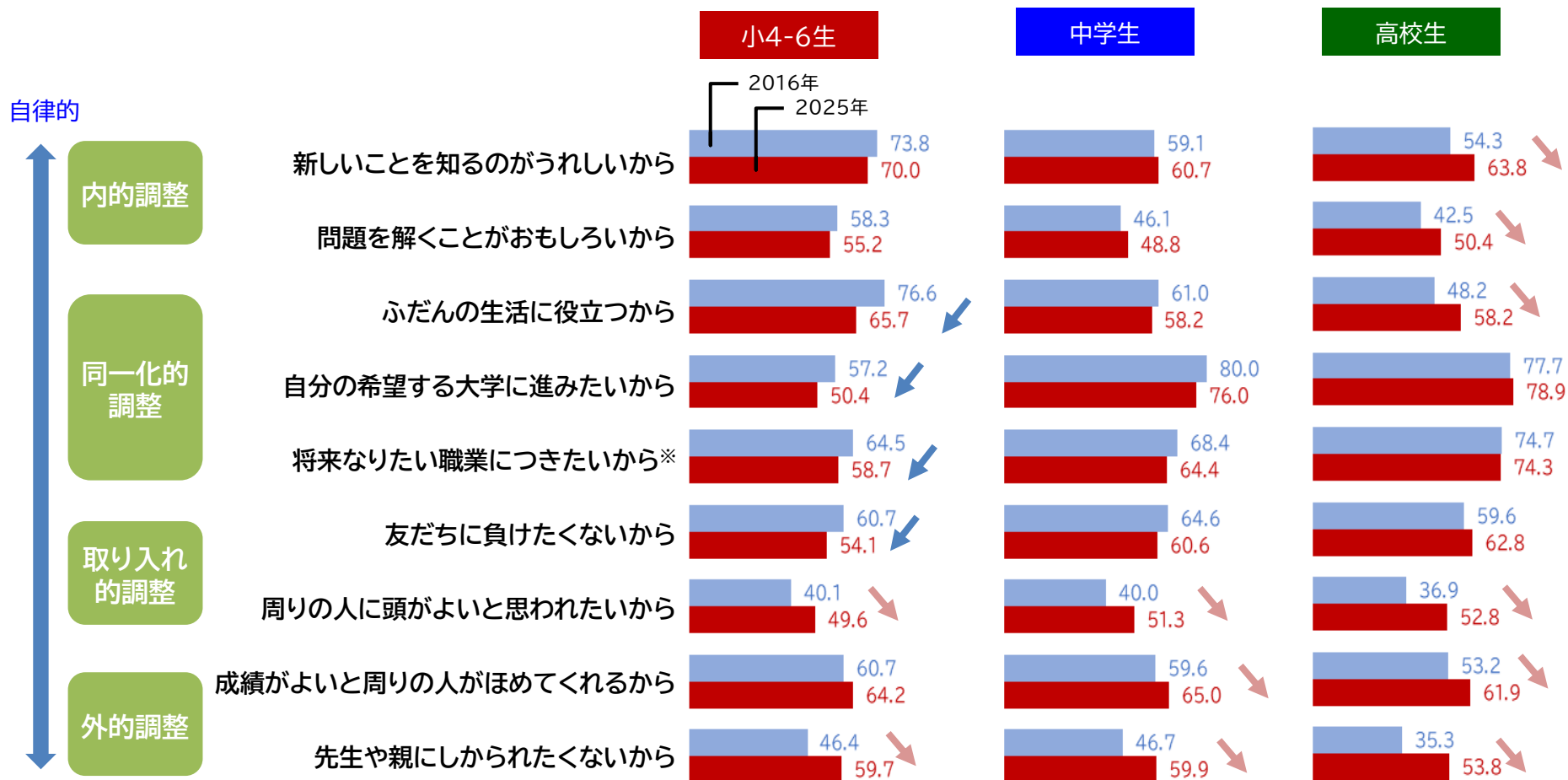


⑤ 動機づけの変化（2016～25年）

下の図は、勉強する理由について、2016年と2025年の結果を比較したものです。小学生から高校生まで共通して比率が高まっているのは、「先生や親にしかられたくないから」です。高校生では、「新しいことを知るのがうれしいから」という理由も増加しています。

●あなたが勉強する理由は何ですか

「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の合計(%)



*5ポイント以上の変化があった箇所に矢印をつけた

*※印の項目は2017年と2025年の比較(2016年調査ではたずねていない)

⑥学習時間の変化（2015～25年）

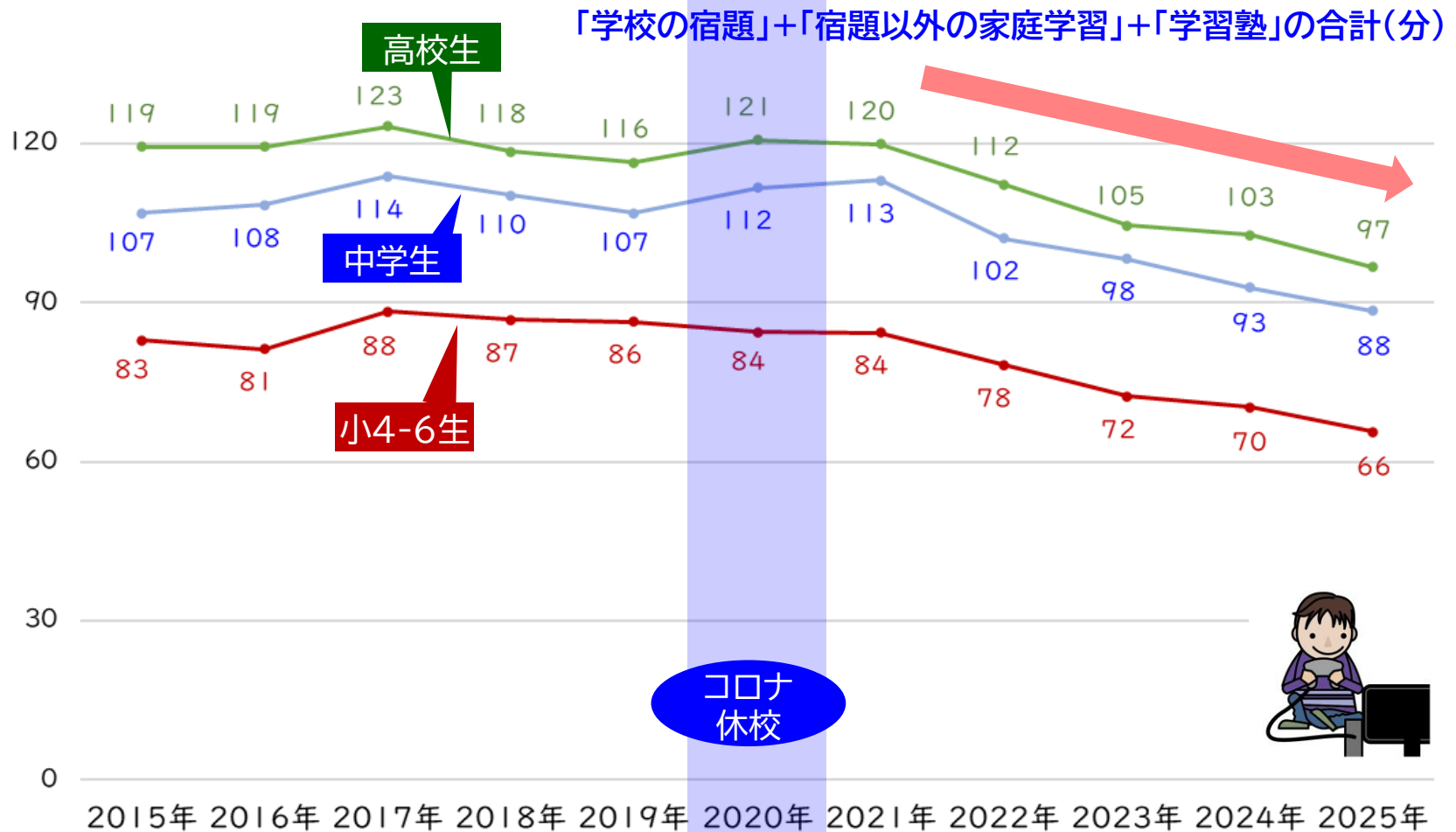
次は、1日あたりの学習時間の推移です。

学習時間は、小・中・高ともに、2015～20年ごろにかけてはほぼ横ばいでした。

しかし、2020年以降、いずれの学校段階でも学習時間が減少しています。

●学習時間(1日あたり)

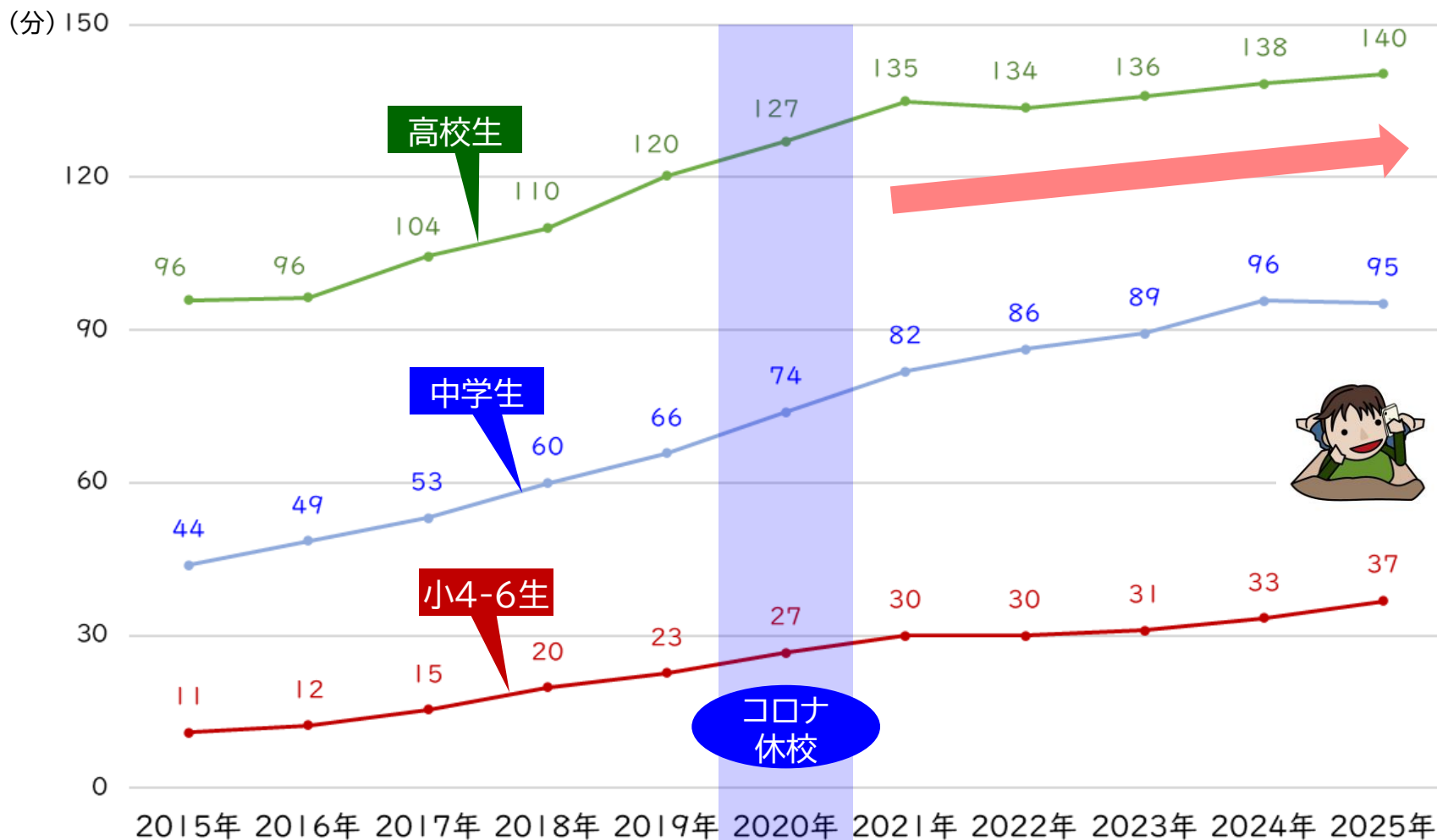
(分) 150



⑦スマホ時間の変化（2015～25年）

最後に、1日あたりの携帯電話・スマートフォンの利用時間の結果を取り上げます。
その時間は、学校段階を問わず、2015年から増加し続けています。
2025年の平均は、小学生で37分、中学生で95分、高校生では140分となっています。

●携帯電話・スマートフォンの利用時間(1日あたり)



調査結果について

調査の結果をご覧になって、どのように感じられたでしょうか。

10年間の変化では、「勉強が好き」と感じる子どもの割合が減り、「勉強する気持ちがわからない」「勉強のしかたがわからない」など、学習に対する不安や悩みを抱える子どもが増えているようです。

時間の使い方では、学校段階を問わず学習時間が減る一方で、スマホ時間が増加しています。生活習慣の乱れも気がかりな傾向です。



3月から4月は進級・進学で大きな変化が生じやすい時期です。

お子さまの生活で心配なところがないかに気を配り、日常の会話の中でも学校や友だちのことをたずねてください。小さな不安でも早めに気づけるようにしていただければと思います。

4月から迎える新しい年度が、皆さまにとって充実したものになることをお祈りいたします。

調査結果の詳細

「子どもの生活と学び」研究プロジェクトのWEBサイトでご覧いただけます

[こちらのページ](#)をご覧ください

「子どもの生活と学び」研究プロジェクト お問い合わせ窓口

Email: research-monitor@mail.benesse.co.jp

お問い合わせ時には、はがきのお宛名の近くにある（5桁の数字）をお知らせください。

ご返信は土日祝日を除く3営業日以内にお送りいたします。